

令和5年度 家庭教育オピニオンリーダー研修③ 実施報告

実施日：令和5年9月6日（水）

○ 説明・演習「家庭教育支援プログラムについて」

栃木県総合教育センター 生涯学習部



家庭教育オピニオンリーダーが実施している家庭教育支援の取組には、子育てについて保護者が学び合う機会の運営や進行といったものがあり、その際に活用されている「家庭教育支援プログラム」のねらいや期待される効果、基本的な進め方について説明がありました。また、プログラムについての理解を深めるため、アイスブレイクやワーク（子育てにまつわるエピソード等を基に実施する協議などの活動）の体験も行いました。

短い時間でしたが、受講者は家庭教育支援プログラムの概要を知ることができました。

○ 事例発表・座談会「家庭教育オピニオンリーダーの活動について」

栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会長 桐生 澄江 氏 副会長 今井 由佳 氏
研修部長 高松 真里 氏 広報部長 高久 厚子 氏

栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会の活動について、会長の桐生氏をはじめとする4名の会員から説明がありました。まず、桐生氏から、連合会は発足から30年を超える歴史ある組織として、「子育て・人づくり・地域づくり」を目標に活動していること、現在の会員数は378名で、県内7ブロック32支部が、それぞれの得意とする分野や地域の特徴を生かし、地域に根づいた活動を展開していること等について説明がありました。

その後、今井氏からは県央地区の活動について、高松氏からは県北地区の活動について、高久氏からは県南地区の活動について説明がありました。家庭教育オピニオンリーダー連合会単独の活動だけでなく、学校や行政、他団体と連携しながら、小学校での親学習プログラムや工作活動、イベントなどを実施したり、家庭教育支援者としての力量を高めるための研修会を催したりしているとの説明がありました。

受講者は、家庭教育オピニオンリーダー連合会の活動について、理解を深めることができました。



○ 説明「遊びの中で学ぶ子どもたち」 栃木県幼児教育センター 幼児教育指導員 小倉 庸寛 氏



小倉氏からは、御自身が経営された幼稚園や保育園、認定こども園での子どもたちとのかかわりやエピソードを事例として示しながら、幼児期の子どものをどのように育むのか、その育ちに大切な要素は何か、幼児期の子をもつ親への支援で大切なことは何かなどについて説明がありました。

受講者は、自分の子育て経験も想起しながら、幼児期の子どもの育ちを支えるための基本的な考え方について理解を深めていました。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・オピニオンリーダーとして様々な活動があり、支部ごとに特徴があることを知りました。
- ・小倉先生にエピソードを交えながら話していただき、子どものよりよい育ちのために、保護者と信頼関係を築くなかで、その人の背景に思いを巡らせる大切さについて大変理解が深まりました。
- ・幼児期の子をもつ親から相談された時などに、つい自分の子育ての経験から「こうしたらどうでしょうか。」というような声かけをしてしまいがちでしたが、背景に目を向けるというお話を伺い、全ての子どもが同じようにできないこともあるのだなという気付きがありました。
- ・本日はどの内容も勉強になり、あっという間に過ぎてしまったように感じました。実践していけるようなこともたくさん教えていただき、とても有意義な研修になりました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp